



# 美しい 県土づくりNEWS

2018年  
11月

岩手県 県土整備部  
 手づくり広報誌第172号  
 平成30年11月30日発行  
 編集 県土整備企画室

### 目次

- 2 【主要地方道一関北上線】「柵の瀬橋」が開通しました！
- 4 【復興支援道路】一般国道107号梁川口内トンネルの銘板御披露目式を開催しました!!
- 6 建設ICT現場見学会&講習会を開催しています
- 8 いわて建設業みらいフォーラムを開催しました
- 10 国に対する提言・要望活動を行いました
- 11 復興道路等の整備による「ストック効果」を紹介します！  
 釜石道特集② 釜石道と三陸沿岸道路(三陸道)の連携



## 遊水地の田園風景に抱かれる橋 新しい「柵の瀬橋」が開通

主要地方道一関北上線「柵の瀬橋」は、昭和38年に完成した旧橋の老朽化などに伴い、2013年度から架替工事を進めてきましたが、新橋が完成し、11月11日に開通しました。

橋の開通によって、幅員が広くなり交通が円滑になるほか、橋梁の耐震性や北上川の洪水流下能力が向上し、地域の活性化や災害時における信頼性の高い交通ネットワークの構築に大きく寄与することが期待されます。



左側が旧「柵の瀬橋」、右側が新「柵の瀬橋」です。将来においても地域の人々に親しまれる橋梁となるよう、周囲の田園風景との調和などに配慮し、景観やデザインを検討しました。

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

平成30年(2018年)11月号 ▲ 柵の瀬橋 開通

(主要地方道一関北上線)

「柵の瀬橋」が開通しました！

県南広域振興局土木部一関土木センター

国の一関遊水地事業に関連して整備を進めている、主要地方道一関北上線「柵の瀬橋」が平成30年11月11日(日)16時に開通しました。柵の瀬橋は北上川に架かるコンクリート橋としては県内で1番の長さになります。

当日は天候にも恵まれたなか、開通に先立ち11時から開通式を開催し、岩手河川国道事務所長、一関市長、平泉町長、細川県南広域振興局長、県議会議員、市議会議員、町議会議員、地権者、一関市立中里小学校、舞川小学校の皆様など約70人が出席しました。

開通式では、一関市長、高田県議会議員から御祝辞をいただき、中里小学校の児童からは、開通式を迎えての作文を発表していただきました。

その後、テープカットとくす玉開披、郷土芸能である中里鶏舞踊りが披露されました。開通式典後には、施工業者の主催による安全祈願祭を行った後、親子三代渡り初めを行いました。



細川県南広域振興局長の式辞



勝部一関市長の祝辞



菅原所長の事業経過説明



中里小学校児童からの作文発表



テープカット・くす玉開披



「中里鶏舞」披露



安全祈願



親子三代渡り初め



平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

平成30年(2018年) 11月号 ▲ 柵の瀬橋 開通



一関土木センター全員集合！



開通後の状況

【「柵の瀬橋」の事業概要】



【道路整備による効果】

- 緊急輸送道路の機能向上  
緊急車両や大型トラックの通行がスムーズになり、耐震化が図られるので、災害直後から避難・救助をはじめ、物資供給の応急活動が強化される。
- 地域間交流のネットワーク機能の向上  
幅員が広くなることで交通の安全が確保され、地域間の交流・連携の促進が図られる。
- 北上川の洪水流下能力の向上  
国土交通省が進める一関遊水地事業と一体となって整備することにより、治水対策に一層の効果が得られる。